

2021年度第2四半期景況動向調査概要報告

一般社団法人東京都金属プレス工業会

日頃は、「景況動向調査」にご協力いただき誠にありがとうございます。第2期分の集計が出来上がりましたのでご報告いたします。

なお、グラフはホームページ(<http://www.tmsa.or.jp>)に掲載しております。

項目	時期	自動車用	情報通信・OA用	電機・AV用	その他用
業況判断	前 期 比	悪化傾向	回復傾向	回復傾向	悪化傾向
	来期予測	悪化傾向	悪化傾向	回復傾向	回復傾向
売上動向	前 期 比	悪化傾向	回復傾向	横ばい傾向	悪化傾向
	来期予測	悪化傾向	横ばい傾向	横ばい傾向	回復傾向
利益動向	前 期 比	悪化傾向	回復傾向	悪化傾向	横ばい傾向
	来期予測	横ばい傾向	横ばい傾向	横ばい傾向	回復傾向
仕入価格		横ばい傾向	横ばい傾向	横ばい傾向	横ばい傾向
販売価格		上昇傾向	上昇傾向	横ばい傾向	上昇傾向
雇用動向		上昇傾向	上昇傾向	横ばい傾向	下降傾向
経営上の 問題点		売上・受注の停滞・減少/原材料高/値下げ要求/ 経費の増加/求人難/資金繰り	売上・受注の停滞・減少/原材料高/ /求人難/外注先の確保	原材料高/値下げ要請/求人難	売上・受注の停滞・減少/原材料高/ 経費の増加/求人難/外注先の確保
取引代金の 決済手段について	現 金	40%	20%	48%	47%
	手 形	41%	70%	15%	10%
	一括決済	19%	10%	37%	44%
型管理に関して 発注先と問題の ある取引について	な い	67%	100%	67%	57%
	ある(行政と相談 望む)	0%	0%	0%	0%
	ある(行政と相談 望まず)	33%	0%	33%	43%

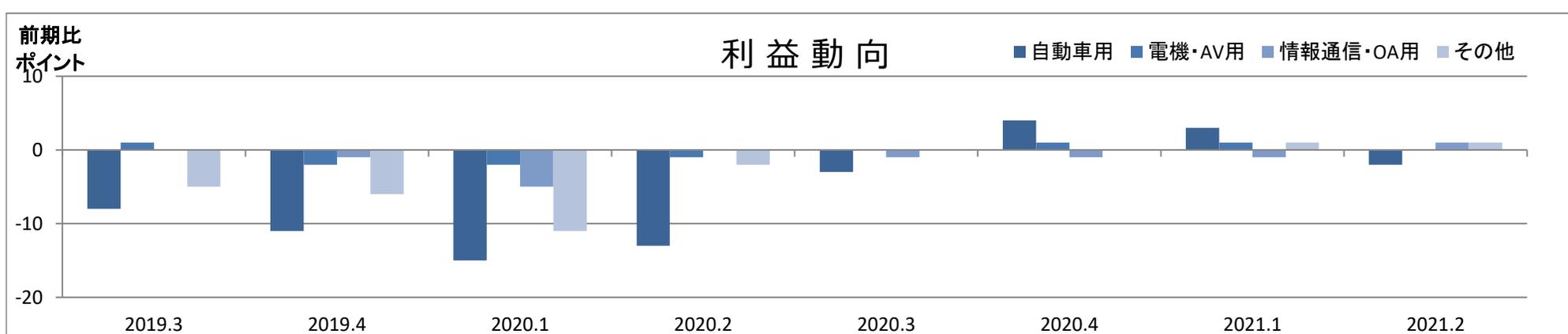
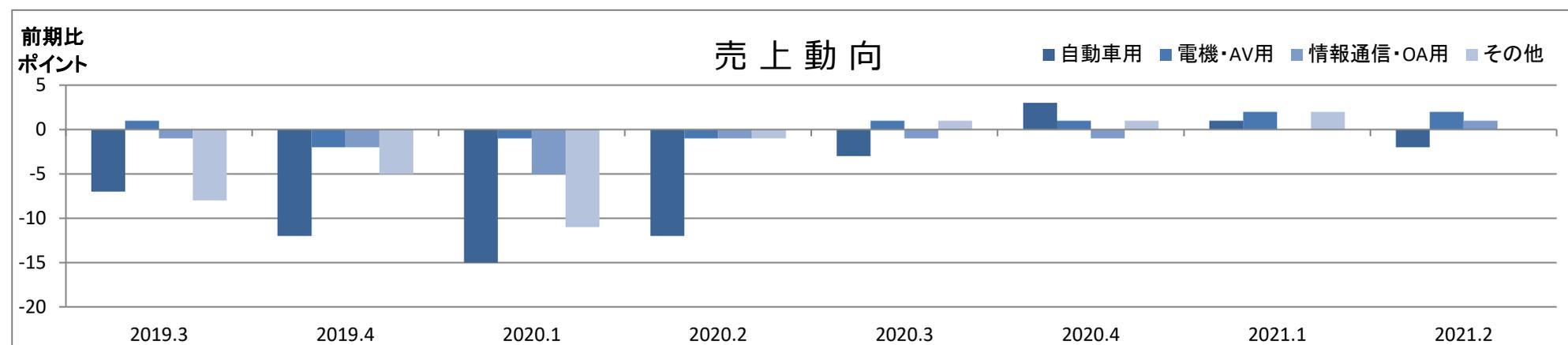
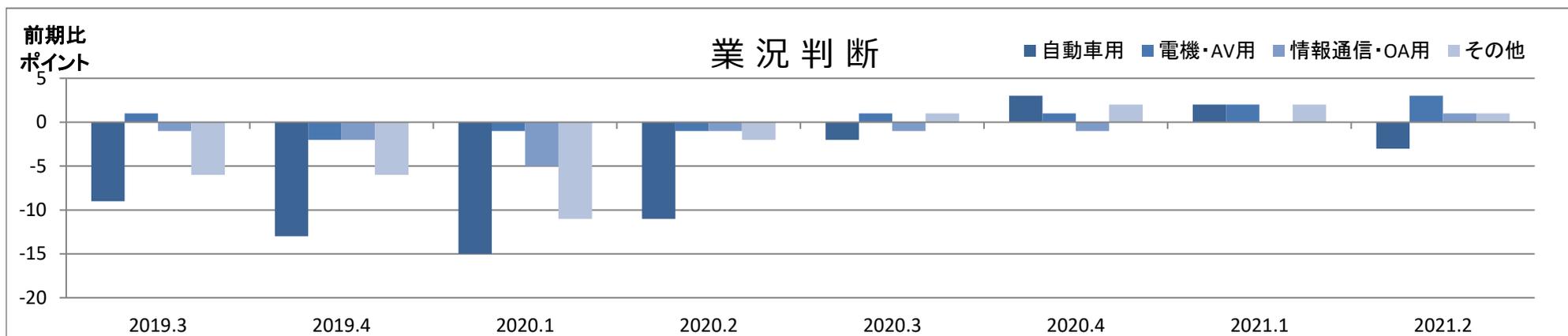
2021年度第2四半期 発注先の動向を含む最近の景況実感について

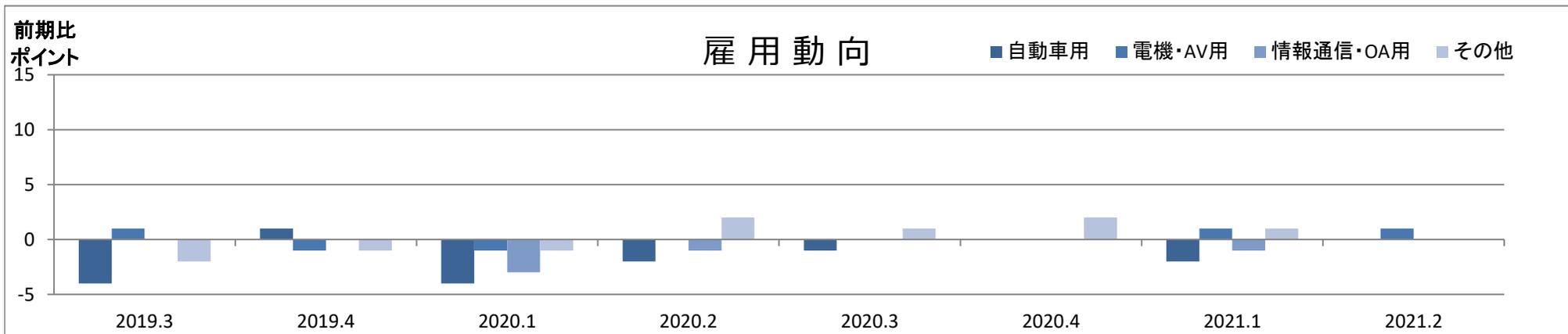
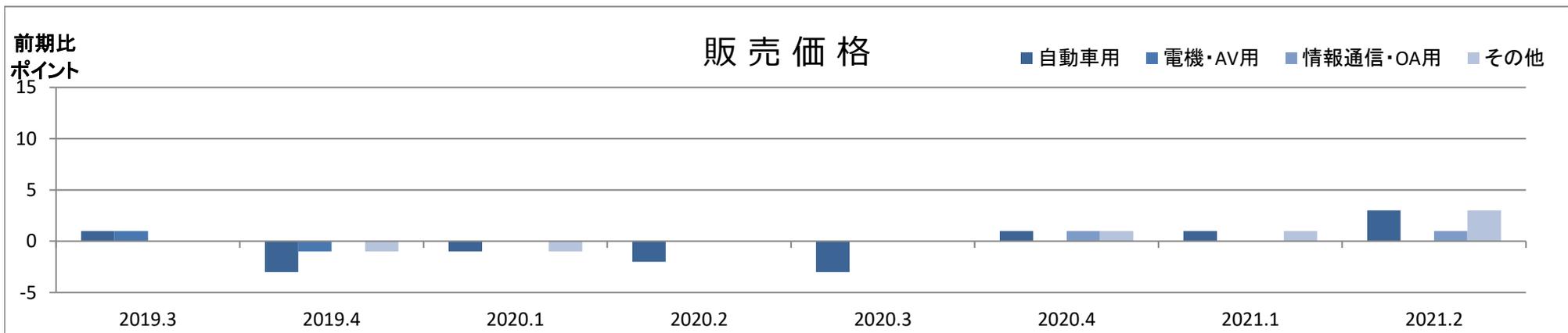
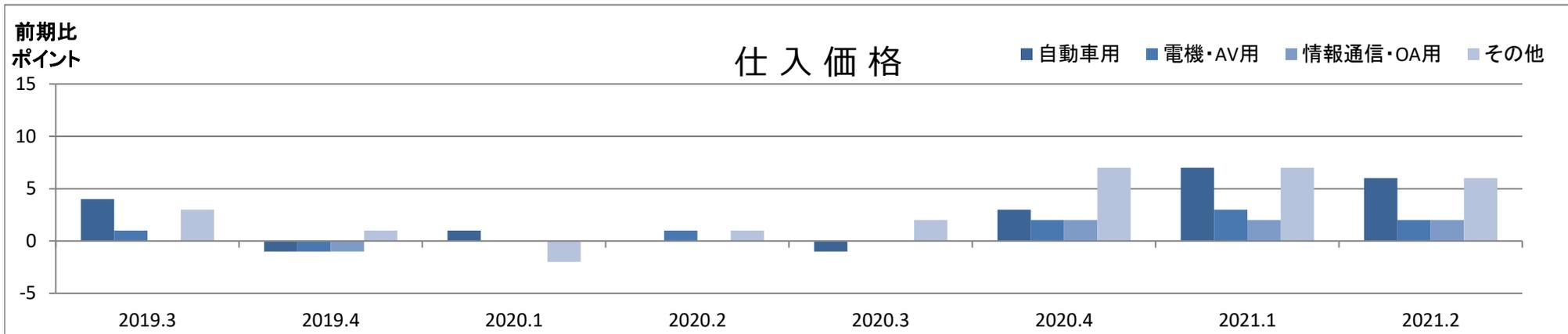
【自動車用】	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車部品は、自動車の販売台数（日産、三菱自）の低位安定状態にある。これまでの取引先以外の新規市場を見出す必要を感じる
	<ul style="list-style-type: none"> ・品質、納期、技術等より価格優先で決める傾向が顕著になっている、日本は価格で世界で生き残っていくつもりなのか、日本ブランド(技術、品質、納期)衰退していくのか
	<ul style="list-style-type: none"> ・OEMの部品不足による生産調整の影響を強く受けている。雇用調整助成金の受給を受けながら、厳しい資金繰りを強いられている。発注は正規に止められているが、見込んでいる受注がないと固定費を賄えない
	<ul style="list-style-type: none"> ・海外のコロナウイルス感染に伴いロックダウンが行われている影響で、国内の自動車メーカーが生産調整・非稼働を取っている為、OEMの売上（受注）は大幅な減少にしている。又、材料費が高騰しており、得意先との価格交渉はしているが、満足のいく価格にならず、利益の減少に繋がっている
	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車関連部品の売上については、世界的なコロナの感染拡大から世界の2020年の自動車生産数は7762万台と前年から15%減少となったことで、当社も自動車関連部品の受注が前年比60%減少していたが、国内の自動車生産が
	<ul style="list-style-type: none"> 2020年10月～12月で489万台と前年より増加した事から、2020年10月以降は前年比20%の減少まで戻っている
	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア圏でのロックダウン、半導体不足、コロナ感染での生産停止があり、8月から10月末まで減産傾向
	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車関係の受注減少が際立っている
【情報通信・OA用】	<ul style="list-style-type: none"> ・先行不透明感はぬぐえない
	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年6月以降売上が下がり始め、昨年度との比較だけで見れば横ばいである。しかし、実態は悪い方の横ばいの為、売上、業況としてみれば好転していない。材料費の値上げも大きく、半導体不足での顧客の稼働日減も響いている
【電機・AV用】	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車メーカーの減産により、11月頃より落ち込むと予測。半導体の供給動向如何による
	<ul style="list-style-type: none"> ・材料の異常な高騰、対応苦慮、見通し立たず
【その他用】	<ul style="list-style-type: none"> ・材料価格の上昇分を取引価格に転嫁（値上げ交渉）するタイミングを図っている
	<ul style="list-style-type: none"> ・全得意先から まだら模様、中国からの撤退が相次ぎ 少し期待
	<ul style="list-style-type: none"> ・引続き建設機械向けが好調。中国が不景気との事だが、北米・東南アジア向けが好調との事、いつ急激に落ち込むか心配である
	<ul style="list-style-type: none"> ・少しずつ景況感が上向いてきているようである。非常事態も解除され、コロナも落ち着きを見せている。受注量も

	満遍なく増えてきている。この調子で年末までいってもらえればと思う
	・受注が急増している。今までは波の幅が比較的少ない業界だったが、ここ数年で変わってしまった。対応に苦慮
	している

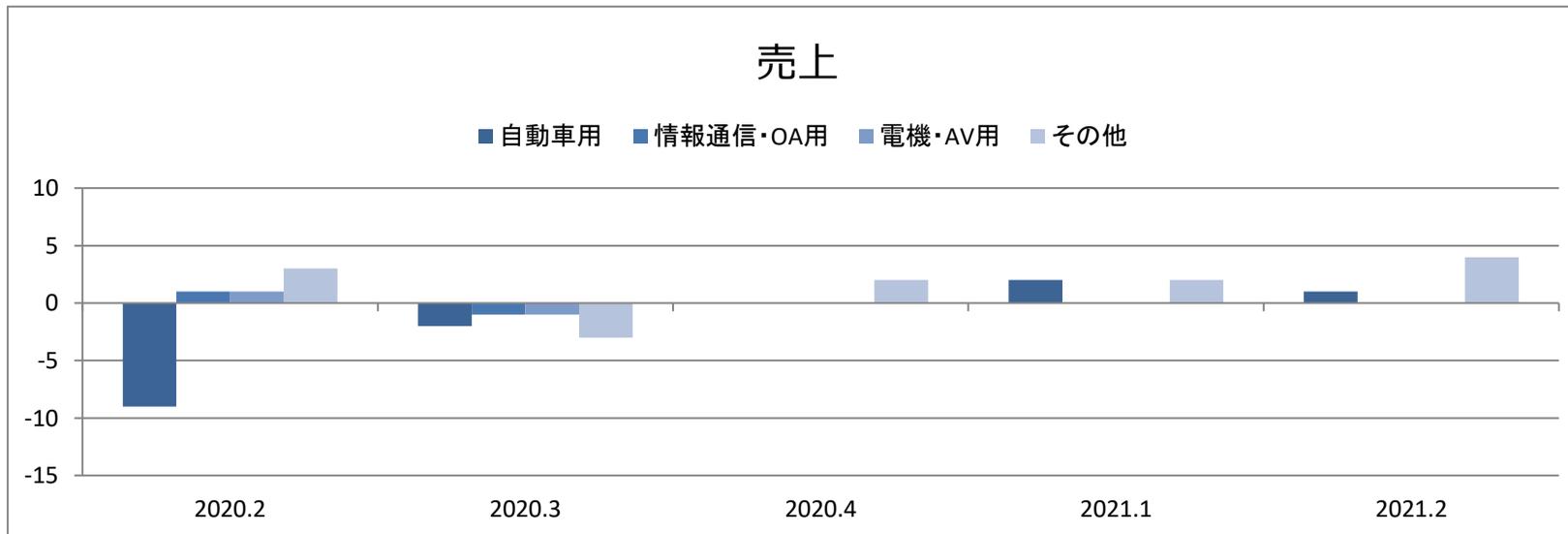
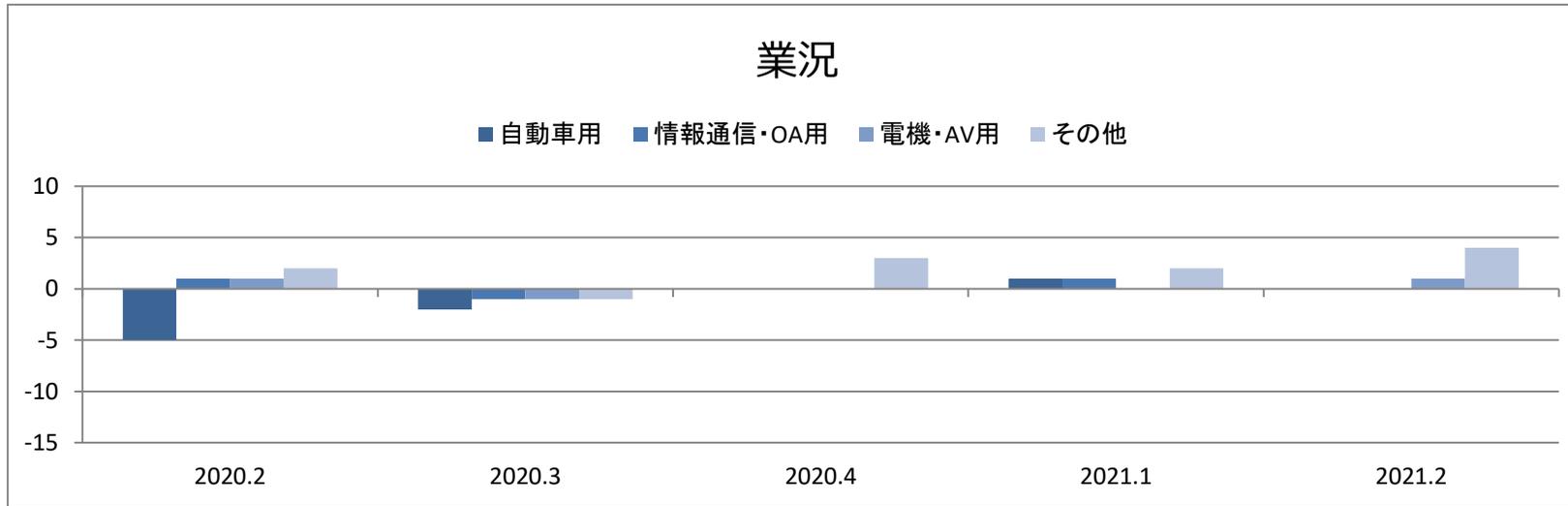
以上

【景況動向報告】



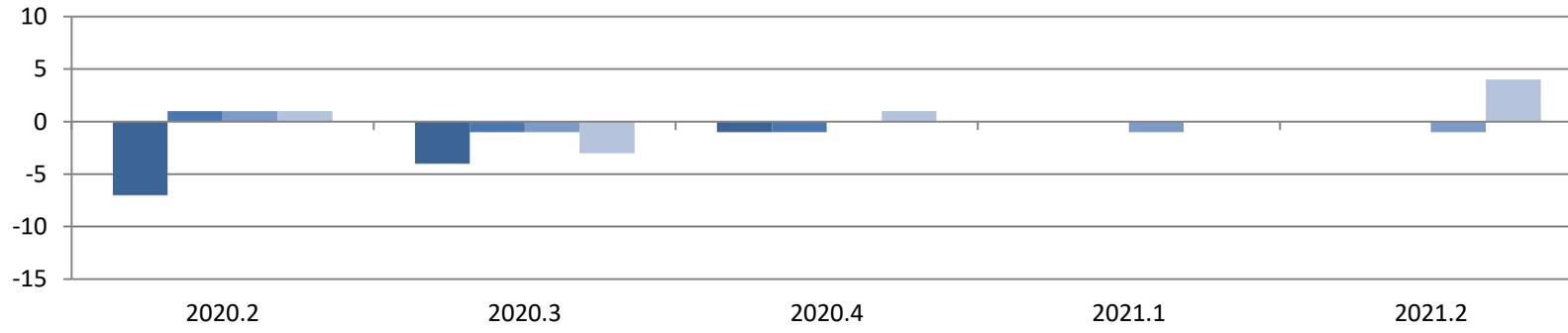


【景況動向予測】

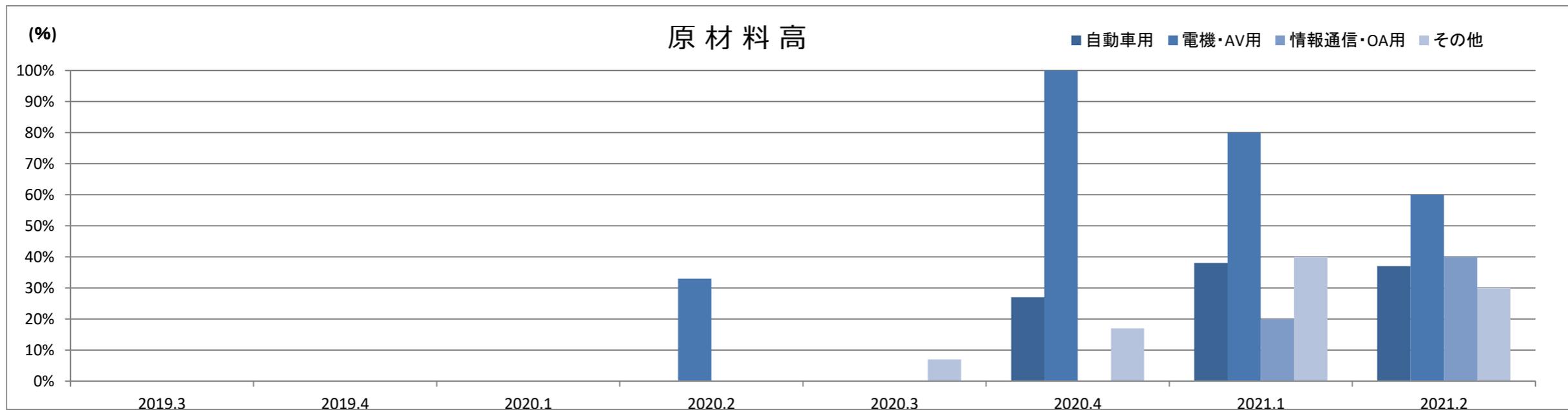
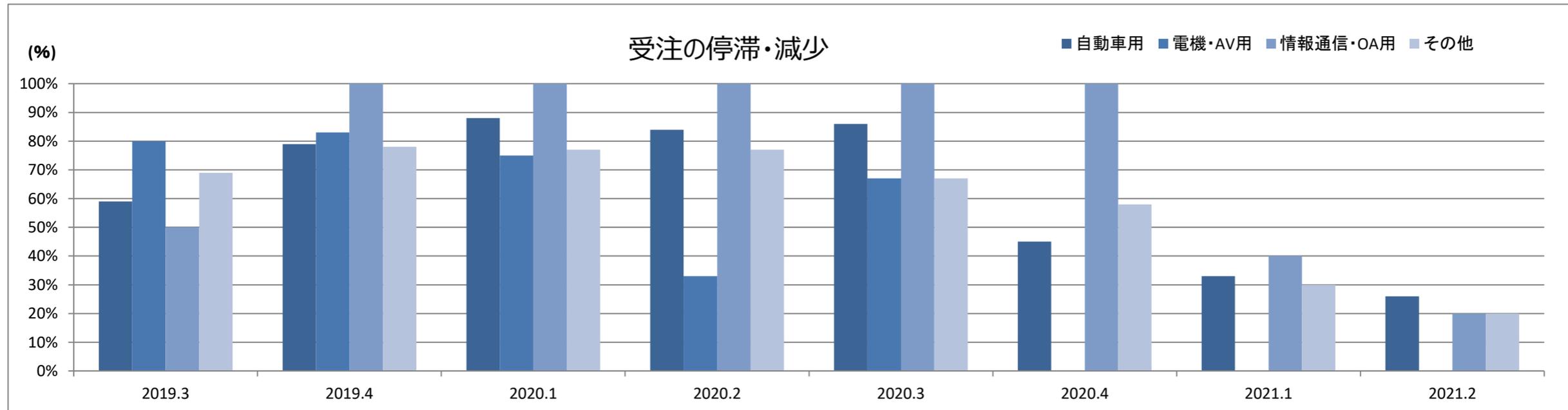


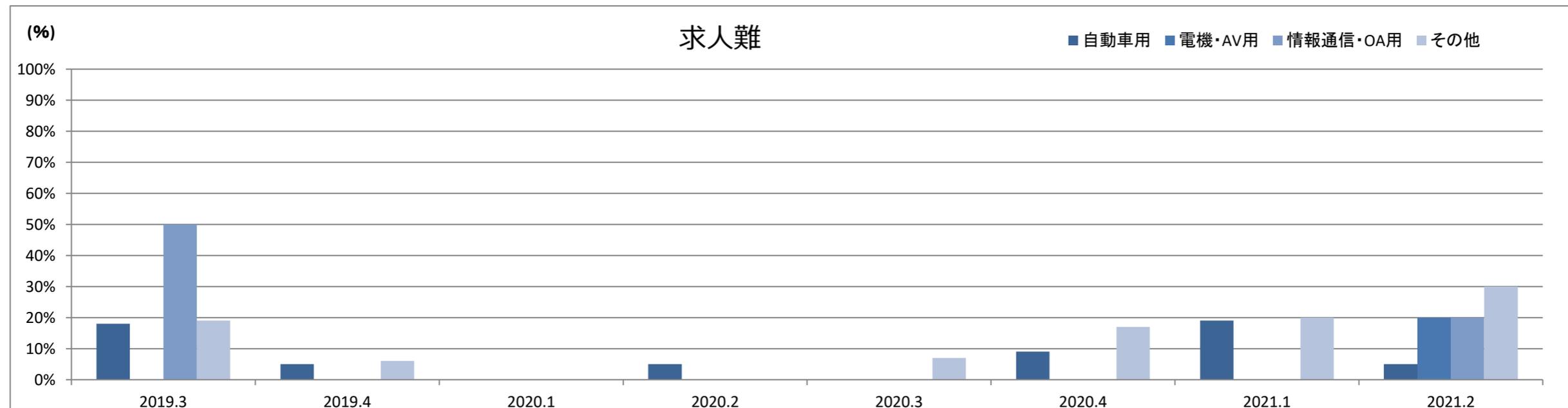
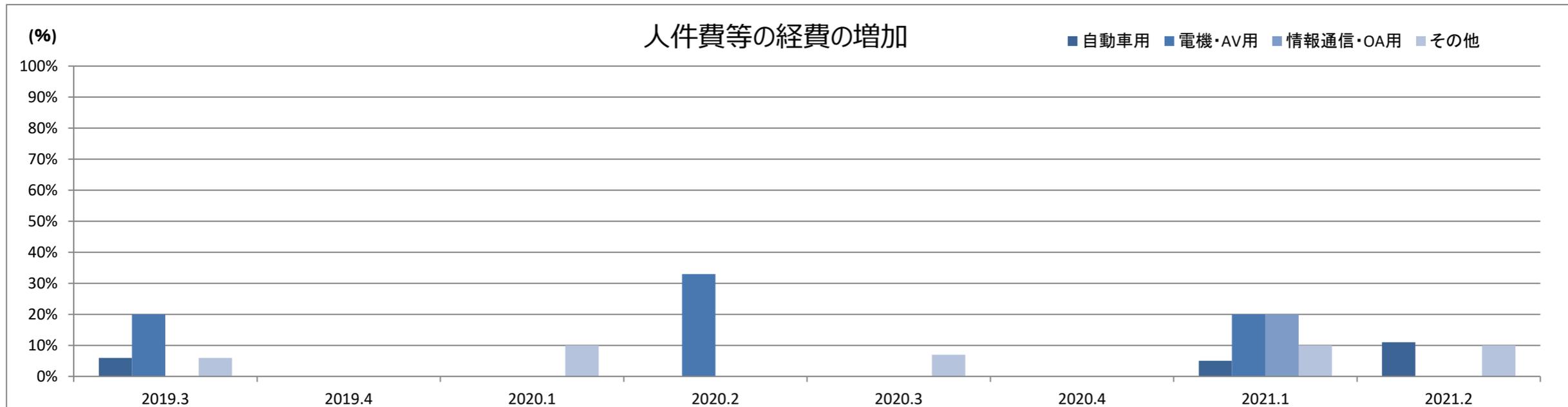
利益

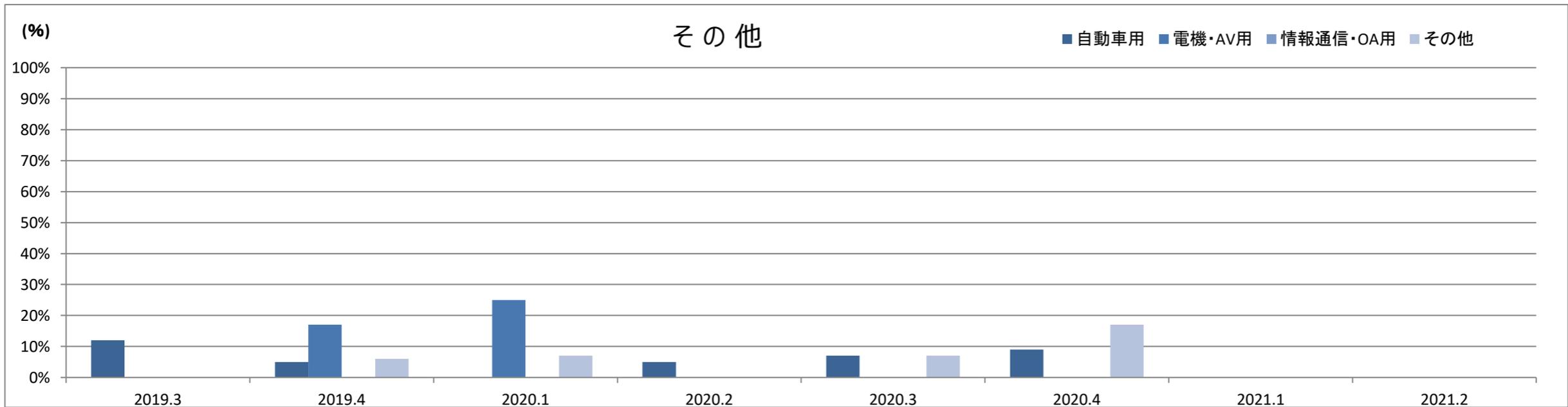
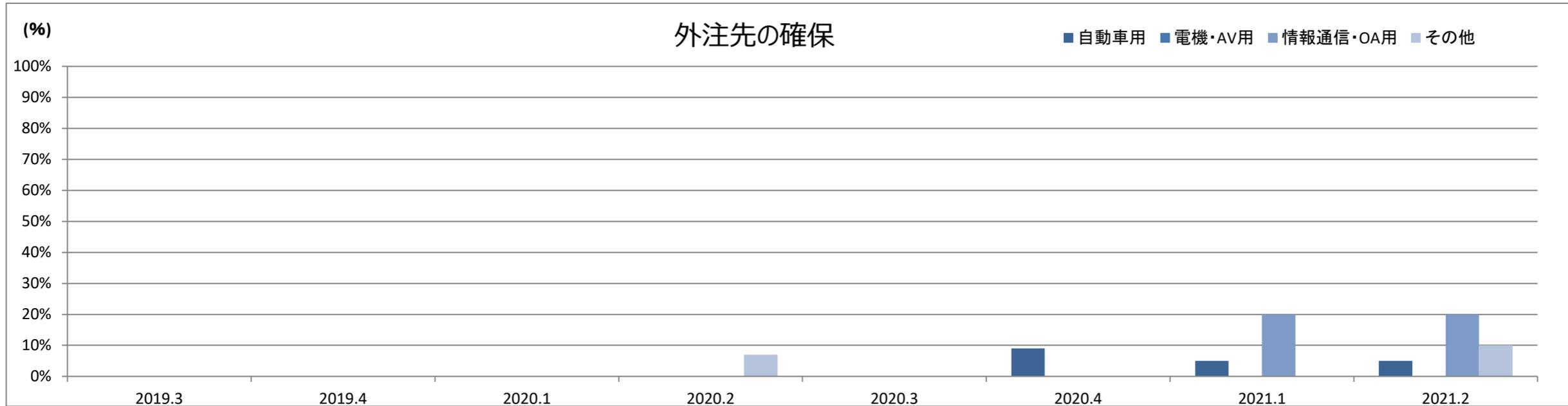
■ 自動車用 ■ 情報通信・OA用 ■ 電機・AV用 ■ その他

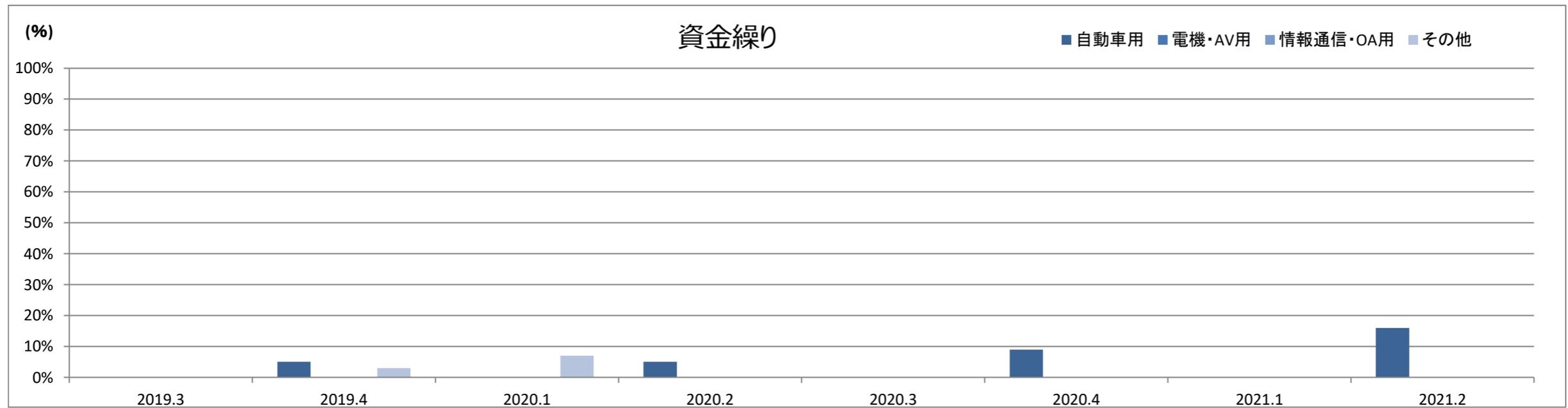
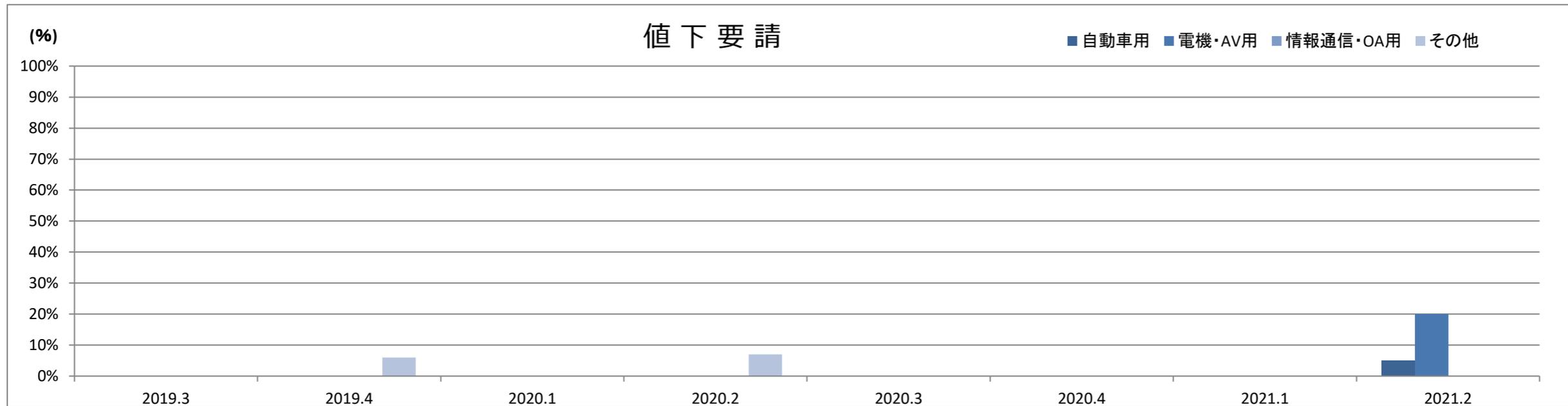


【経営上の問題点】



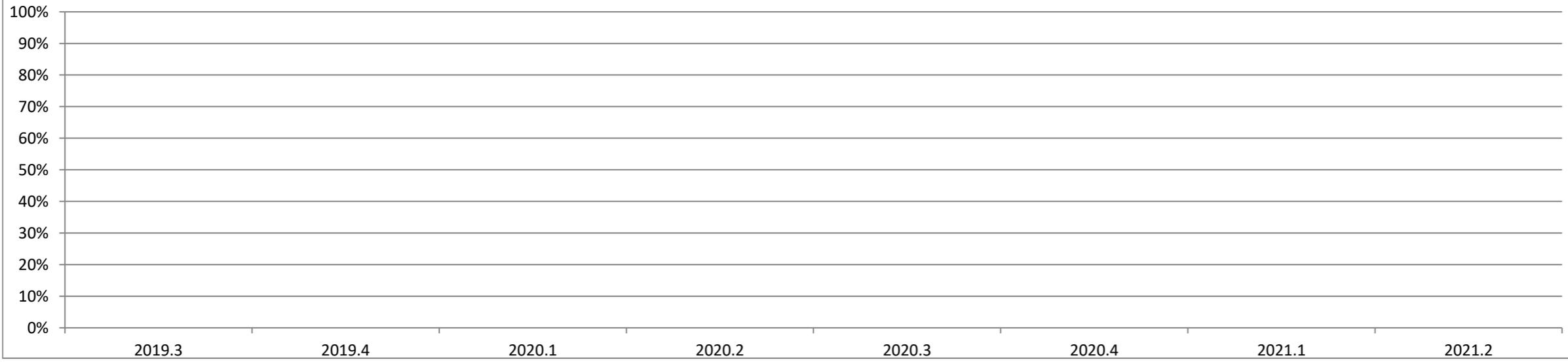




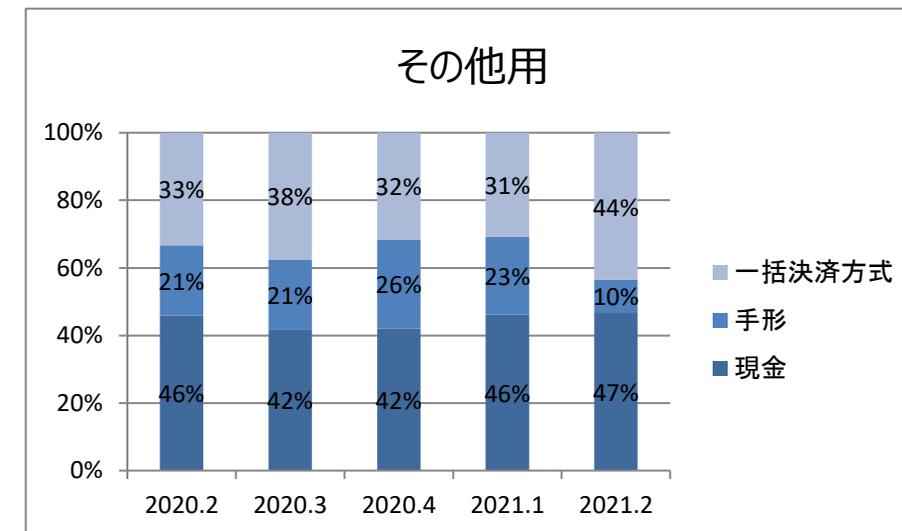
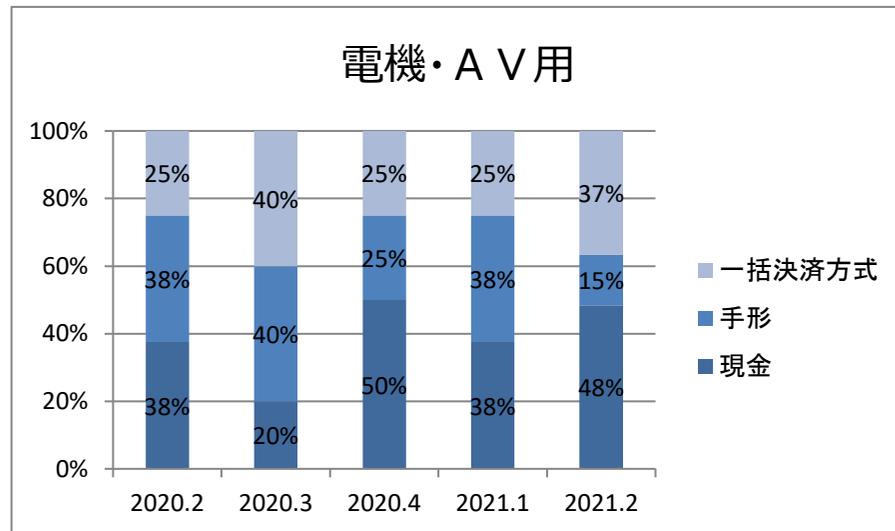
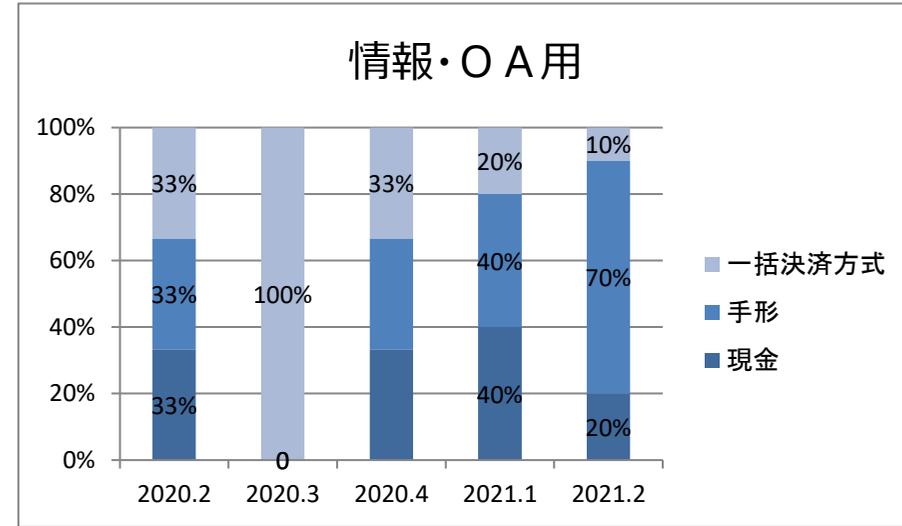
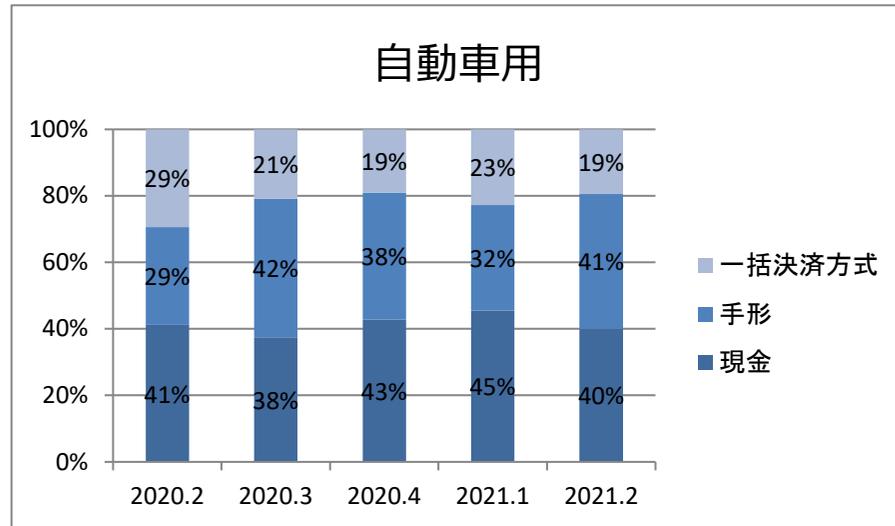


物流

(%) ■ 自動車用 ■ 電機・AV用 ■ 情報通信・OA用 ■ その他



【取引代金の決算手段について】



【型管理に関して発注先と問題のある取引について】

